

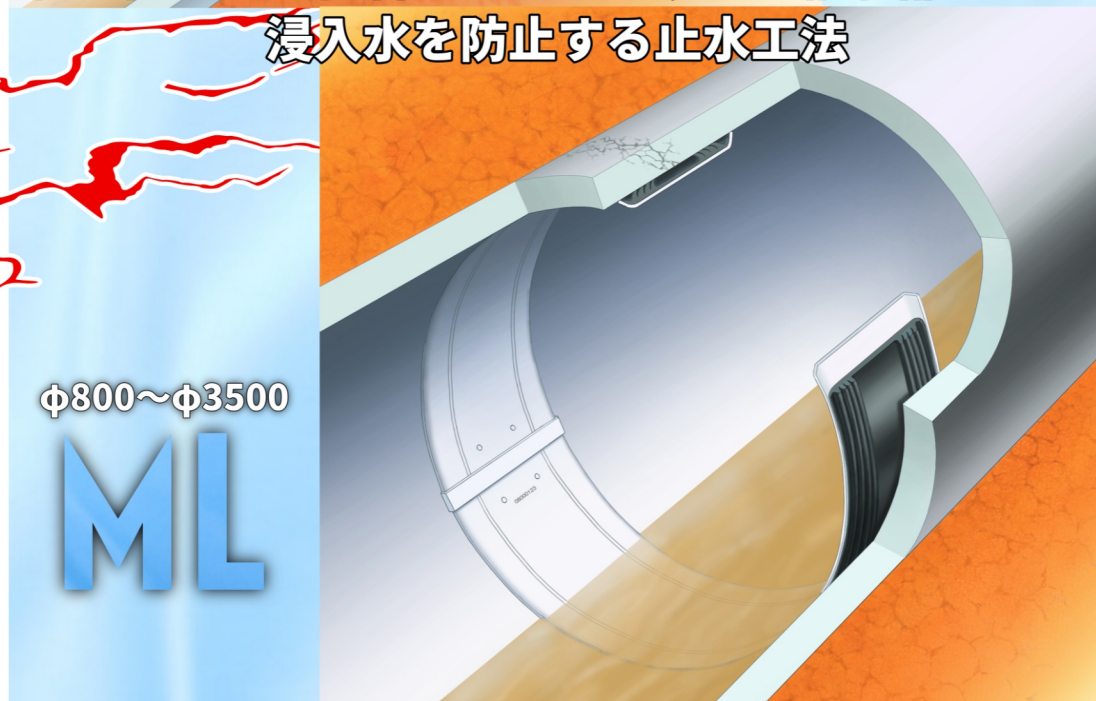
SNAP LOCK

スナップロック工法S / スナップロック工法ML

下水道管きよの修繕工法



小口径～大口径管きよのクラック・継手部からの
浸入水を防止する止水工法



日本スナップロック協会

既設管きょ継手部の浸入水・漏水を止水

Characteristic

① 止水性に優れる

ステンレススリーブの拡径・固定により、ゴムスリーブの止水機構を管内面に圧着設置するため、高い水密性能を発揮する。

② 耐久性に優れる

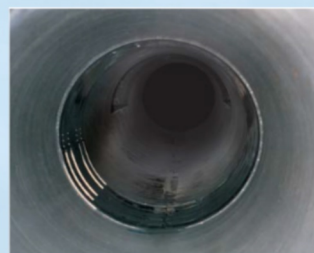
工場生産のステンレススリーブとゴムスリーブは安定的な品質を有し、施工中に水に触れても変質しない。設置後は経年変化や下水中に含まれる化学物質に対して長期の耐久性を持つ。

③ 施工性に優れる

スナップロック工法S(φ700以下)では、TVカメラが水没しない水位、スナップロック工法ML(φ800以上)では、管径の25%(φ1650以上は最大水位400mm)の水位であれば、流下状態でも施工が出来る。

④ 追跡性に優れる

スナップロックには全て認識番号が刻印されているため、施工後の追跡調査を行う事が出来る。



スナップロック工法S 設置写真



スナップロック工法ML 設置写真

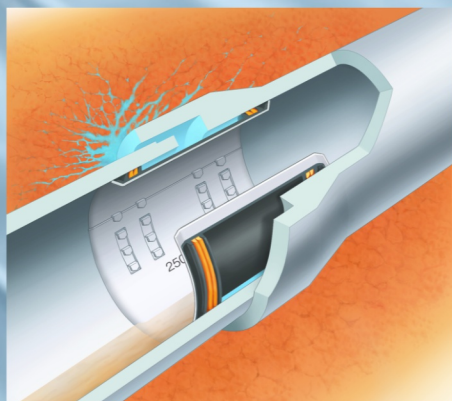
Specification

スナップロック工法S

- 適用管径...φ200～φ700
- 適用管種...管きょ全般（ヒューム管、陶管、硬質塩化ビニル管、等）
- 材料仕様...ステンレス(SUS 316鋼)/ゴム(SBR+水膨潤ゴム)
- 止水性能...外水圧 0.1MPa
- 不陸角度...最大 3.0 度
- 設置距離...人孔より 50 m 以内
- 目地隙間...100 mm まで
- 施工水深...管径の 25 % 以内
- 段 差...最大 4.0 mm

スナップロック工法Sは、管径φ700以下の継手部やクラックから発生する浸入水（漏水）を防止する非開削の修繕工法。

ステンレススリーブとゴムスリーブからなる円筒形の修繕部材を拡径、固定することにより、ゴムスリーブに設けた止水構造部を管内周面に圧着させ、確実な水密効果を発揮する。



スナップロック工法S 設置イメージCG

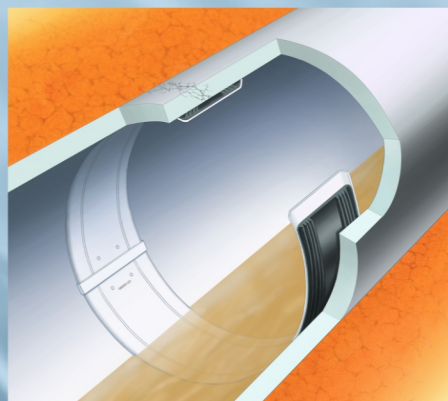
スナップロック工法ML

- 適用管径...φ800～φ3500
- 適用管種...管きょ全般（ヒューム管、等）
- 材料仕様...ステンレス(SUS 316鋼) / ゴム(SBR)
- 止水性能...外水圧 0.1MPa / 内水圧 0.2MPa以上
- 不陸角度...最大 3.0 度
- 設置距離...人孔より 500 m 以内
- 目地隙間...100 mm まで
- 施工水深...管径の 25 % 以内
(φ1650以上は最大水位 400 mm)
- 段 差...最大 4.0 mm

管径φ800以上、最大φ3500までの中・大口径管における浸入水（漏水）を止水する非開削の修繕工法。3分割※ステンレススリーブは、施工性に優れ、小型の専用油圧ジャッキにより、流下状態での施工を実現している。

大断面であっても高い剛性の一体リング形状を形成し高い止水能力を即座に発揮する。

※管径φ3100以上は4分割



スナップロック工法ML 設置イメージCG